

インタビュー調査へのご協力をお願い

CLoCMiP レベルⅢ 審査前の 助産師のキャリア発達に関するニーズ

私たちは CLoCMiP レベルⅢ 認証審査を受ける前の助産師のキャリア発達に関する研究に取り組んでおります。

日本における出産は、病院と診療所でほぼ半数ずつ行われていますが助産師の就業先は病院 65%、診療所 20%、助産院 5%であり助産師の就業場所の偏在が生じています。また産科病棟の混合化などもあり、就業する施設によって助産師として必要な実践能力を研鑽するための経験値に差が生じると指摘されており、今後は CLoCMiP レベルⅢの条件を満たすために転職を考慮しなければならない助産師が生じると予測されています。このような現状の中、新人期を終えた助産師のキャリア発達におけるニーズを明らかにすることは急務であると考えております。

なお本研究は平成 29～31 年度文部科学省科学研究費の助成を受けております。補助金の助成を受け、インタビューにて「CLoCMiP レベルⅢ 認証審査を受ける前の助産実践能力習熟途上にある助産師のキャリア発達におけるニーズ」を明らかにしたいと本調査を計画致しました。

<インタビューの対象となる方>

- ・ CLoCMiP レベルⅢの認証を受けていない、卒業後 2 年目以上の 20～40 歳代の助産師の皆様

<インタビューに関してお願いしたいこと>

- | | |
|-------|---|
| 日時・場所 | あなた様のご希望に応じて伺います。個室など静かな場所をご指定ください。 |
| 主な話題 | 助産師経験年数、転職歴など
CLoCMiP レベルⅢに関するご自身のお考えについて
CLoCMiP レベルⅢの取得に向けた助産実践について
希望する将来のキャリア
ご自身のキャリア発達のために検討したり、実践していること など |
| 謝礼 | ご協力くださった方には薄謝（クオカード）をお渡しいたします。 |

詳しい説明をお聞きになりたい方は、下記までご連絡ください。

メールアドレス cpuhs_mm-adm@umin.ac.jp

研究代表者：北川良子（千葉県立保健医療大学健康科学部看護学科）

共同研究者：成田伸（自治医科大学看護学部）